

令和元年度茨城県職員等採用試験説明会資料

県立水戸特別支援学校 小川（平成23年度採用）

1 現在の職場について

- ・勤務場所：茨城県立水戸特別支援学校 事務室
- ・県立学校の主な業務内容：学校の顔として来客や電話対応を始め、
歳出・歳入・給与・旅費・財産管理など

2 これまでの職場について

- ・水戸南高校（平成23年～3年間）→水戸農業高校（平成26年～2年間）
→五浦美術館（平成28年～1年間）→水戸特別支援学校（平成29年～現在）

3 県立学校でのやりがい

- ・県立学校は普通高校・実業高校・中等教育学校・特別支援学校など様々な学校が120校あり、事務職員は、直接児童生徒に関わる事は少ないですが、教材の購入や施設設備の改修、教職員が安定して働ける環境づくり（給与や旅費が間違いなく当たり前支給されるよう正確な事務手続きを実施する）等を通して児童生徒の成長のサポートが
できることです。

4 職場の雰囲気

県立学校の事務職員は、学校規模にもより、一校あたり3～7名程度の配置となっていて、基本的には事務室で仕事をしています。

県立学校間で転勤している方も多く、初めての仕事でも、事務室内には経験している方がいるので、わからないところをすぐに相談ができて、新規採用者には優しい職場です。

また、各学校の特色によっては、多少の仕事内容も変わりますが、ほとんどの仕事の基本は同じなので、他校の同じ仕事の担当者に相談をすることも可能です。

そのためには、出張等で他校の方と会える機会に積極的にコミュニケーションをとり、相談しやすい環境を作ることも大切だと思います。

なお、私の今まですべての職場では仕事の相談以外にも、子育てのことなど親身になって相談に乗ってもらうことができしており、仕事と家庭の両立をすることができています。

☆事務室



☆ 備品現況確認



☆工事打合せ



☆ 図書業務



☆ 施設設備管理

